

令和6年度 長崎市立仁田佐古小学校 学力向上プラン

長崎市第5次総合計画

G1 長崎を愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます G1-1「確かな学力」の向上を図ります
【めざす姿】自ら学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる「確かな学力」を身に付けている。

<学校教育目標>

豊かで、たくましい心身をもち、「自ら学び、自ら行動する」子供の育成をめざす。

3つの「す」 「すなおな子 すこやかな子 すすんで学ぶ子」

<めざす子供像>

- すなおな子「きまりを守り、元気なあいさつと適切な言葉遣いが言える子」
- すこやかな子「基本的生活習慣を身につけ、進んで運動する元気な子」
- すすんで学ぶ子「基礎学力や学び方が定着し、人の話を聞いたり自分の考えを自分の言葉で話したりすることができる子」

<めざす学校像>

- 笑顔あふれる学校…わかるまで学ばせ、多様な考え方や行動を認め合い、トラブルを迅速かつ平等に解決することで、自分の良さとともに、「仁田佐古小でよかった」を実感できる学校
- 美しく調和のとれた学校…美しい環境（施設・人的）が維持され、「仁田佐古小でよかった」を実感できる学校
- 地域に愛される学校…「ふるさと愛」を通してふるさとの良さを知り、ふるさとに積極的に関わることで、「仁田佐古小でよかった」を実感できる学校

<成果指標> 長崎市、長崎県、全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率の+1ポイントをめざす。

<学力向上プロジェクト>

見方・考え方を働かせながら、進んで問題解決に取り組む児童の育成
～知識及び技能を確実に習得し、自ら表現し伝え合うことができる児童を目指して～

教師の指導力向上	基礎・基本の徹底と学習意欲の向上	学習環境の整備	学習時間の確保	ふるさと教育に繋がる取組
○見方・考え方を高める手立ての工夫 ・見方・考え方の明確化 ・見方・考え方を高める手立ての工夫 ○指導過程の工夫・改善 ・「問い」を生む問題提示の工夫 ・問題解決学習を基本とした指導過程の工夫 ・ICT機器を活用した授業の工夫	○朝の「ステップタイム」を活用した基礎基本の定着(キュービナを活用し、個々の課題に応じて行う) ○「仁田佐古小学習の約束」の徹底 ○クロームブックを活用した学習意欲を高める授業の展開	○UDの視点を生かした教室の人的・物的環境の整備 ○読書活動の充実のための学校図書館及び学級文庫の整備 ○クロームブックを常時活用できる環境整備。また、使用に関するルール作りとその徹底 ○キュービナを活用した個別最適化された学習	○TTによる個に応じた指導の実施 ○45分始業時刻終業時刻の厳守	○地域の産業や人材の活用 ○中学校、高校との連携・協働の在り方を含めた体制づくり

子供の学びを支える環境づくり

学 校	家 庭	地 域
○「あ・は・は運動」の継続と徹底 ○日常的な相談体制の充実 ○「生活リズム点検」の実施	○規則正しい生活リズムの確立 ○家庭学習時間の確保 ○学習準備や持ち物の点検	○積極的な地域の人材活用 ○地域での安全確保・学校評価者委員会（子供を守るネットワーク） ○地域各団体との連携